



6月24日、ふくしまデステイネーションキャンペーンの一環として、町の歴史文化遺産を巡る「国見町ご集印めぐりバスツアー」を開催し、町内外から26名が参加しました。

出発式では、抽選会が行われ、参加者のうち当選した2名に「くにみもたんプレミアム商品券」が贈られました。

## ご集印めぐりバスツアー



今回のバスツアーでは、国登録有形文化財の「奥山家住宅」や中尊寺ゆかりのハス池など7か所を巡りました。

参加者が訪れた先では、歴史まちづくり推進室職員からのユーモアを交えた楽しい説明を聞きながら、熱心にメモを取ったり、カメラで撮影したりといった光景が見られました。



参加したみなさんからは「ご集印めぐりおもしろいですね。友達にも教えてあげたいです」や「長年国見町に住んでいるが初めて来ました」といった声が聞かれました。

バスツアーは終了しましたが、ご集印めぐりは引き続き体験できますので、町の新たな魅力を見つけてみてください。



# くにみ市場 開催

一道の駅運営の  
足固めが始まりました

7月4日と5日、25日と26日に国見まちづくり株式会社と道の駅出荷組合は、上野台運動公園グリーンアリーナ923駐車場で、くにみ市場を開催し、初日の4日には、オープニングセレモニーが行われました。

オープニングセレモニーでは、まちづくり会社代表取締役の太田久雄町長から「地元野菜や桃などを町内外、さらには県外の人々に訪れていただき、国見の食を味わってもらおうきっかけにしていきたい」とあいさつがあり、国見町道の駅出荷組合の朽木勝之会長からもあいさつがありました。

その後、会場に遊びに来てくれた子どもたちも参加し、テープカットが行われ、くにみ市場がスタートしました。

初日には、先着50名に夏野菜セットのプレゼントもあり、オープン前から多くの人で賑わいました。店頭には、国見自慢の桃をはじめ、きゅうりやトマト、アスパラガスなど、生産者によって大切に育てられた、



新鮮な夏野菜や旬の果物が数多く並びました。また、野菜や果物のほかにもジャムなどの加工品、生花、手作りの工芸品、パンやお菓子などが販売されました。

会場では、飲食できるエリアも設置され、国見バーガーやかき氷などを食べながら、家族や来場者同士団らんしたり、生産者との会話を楽しんでいました。25日から2日間行われた第2回目のくにみ市場には、桜の聖母短期大学の学生もお手伝いに駆けつけてくれました。

くにみ市場は今後も定期的に開催し、町自慢の旬な野菜や果物をお届けします。



(写真提供：国見町商工会青年部)

### ふくしまDCC ファイナル

4月から3カ月にわたり開催された「ふくしまデステイネーションキャンペーン(DCC)」が6月30日に閉幕しました。

福島県主催のふくしまDCCファイナルイベントSLふくしまDCC号に手を振ろう！では、国見町からも「くにみもたん」や商工会青年部のみなさんが参加しました。商工会青年部のみなさんは、太田町長直筆のメッセージが入った横断幕を手し、国見町をPRしてくれました。

## ■農家民泊に興味のある方を募集しています！！■

国見まちづくり(株)では民泊事業に取り組んでみたい方、興味のある方を探しています。

現在、自宅に多数の空き部屋があるという方  
使っていない別棟や納屋があるという方  
空き家を管理して有効活用してみたいという方大歓迎です。

民泊と一緒に地域を盛り上げませんか？ まずは電話にてご相談ください！

◆問い合わせ まちづくり交流課 道の駅準備室 ☎ 585-2132